

おだのなおたけひつ ささしろうさぎず
小田野直武筆 笹に白兔図

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名称及び員数 小田野直武筆 笹に白兔図 1幅
- 3 形 状 絹本著色 軸装
- 4 寸 法 縦100.5cm、横32.5cm
- 5 制 作 者 小田野直武
- 6 制 作 年 代 江戸時代後期
- 7 所 在 地 秋田市中通二丁目3番8号 秋田市立千秋美術館
- 8 所 有 者 秋田市
- 9 説 明

東洋画の構図をとり熊笹の下に白兔を配している。兔は毛の一本一本が丹念に描かれ、耳や背中、後脚などはより白く、目の下や四肢には隈をつけるという東洋的な立体表現がみられる。しかし、兔の背中には熊笹の影が、地面には兔の影が描かれ、ここでの表現は陰影法が意識されている。背景のごく薄い藍は、兔の白さとやわらかな質感表現に効果的な役割を果たし、空間に品のいい奥行きを演出している。

落款は、画面左側に「小田野直武畫」の墨署と、白文方印「羽陽之印」と朱文方印「字日子有」が押されている。

参考

重要美術品認定「絹本著色笹に白兔圖 小田野直武筆」 昭和11年（1936）9月12日

